

平和のいしずえ 二〇一九

陶磁器に描かれた戦争

会期：7月27日(土)～9月1日(日)

休館日：月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日)

展示解説会：8月17日(土) 14時～(1時間程度)



栗東歴史民俗博物館

会場：栗東歴史民俗博物館 第2展示室

〒520-3016 滋賀県栗東市小野 223-8

TEL 077-554-2733/FAX 077-554-2755

<http://www.city.ritto.lg.jp/hakubutsukan/>

平和のいしずえ 2019

陶磁器に描かれた戦争



令和元年度に開催する「平和のいしずえ 2019」では、平成 30 年度に新たに収蔵した陶磁器コレクションを紹介します。

この陶磁器コレクションは明治期から昭和 20 年代ごろまでのもので、主に戦争や軍隊をテーマにした図柄が描かれた皿や茶碗、湯飲みなどの日用雑器を主体に、軍人型の貯金箱や人形、代用品などから構成されています。

なかでも目を引くのは美しいイラストや意匠が施された皿のコレクションです。皿は 14 枚あり、大別すると見込みにイラストが描かれた絵皿と、パターン化した意匠を単色で見込みに表した皿の 2 種類に分かれます。

絵皿は戦争を想起させる絵柄が書き込まれているものが多く、騎馬将校が戦う背景に日清戦争の戦場が描かれたものや、日露戦争の際に戦場となった奉天を遠望する騎馬将校を描いたものなどがあります。

単色のものには日章旗や旭日旗、日本陸軍を象徴する桜花などの軍隊を想起させる紋様がプリントされています。

とかく、現代においても皿などの日用雑器にはその時代の空気感が反映されます。例えば昭和時代末期のバブル時代は高級ブランドのライセンス商品が好まれました。今回紹介した陶磁器コレクションの日用雑器が作られた時代、日本では日清戦争や日露戦争、第 1 次世界大戦、そして日中戦争から太平洋戦争まで、度重なる戦争を経験した時代にあたります。皿に描かれた戦争や軍隊のイメージはこうした時代の空気感を反映したものなのです。特に日清戦争、日露戦争と勝ち戦が続いた時代のものは、高揚する国民の気持ちが如実に絵柄に反映されています。また、こうして絵柄となって視覚化されたことで、当時の政府が推し進めた軍国主義化への賛同を広める効果もあったでしょう。

敗戦によって太平洋戦争後は戦争のない時代が求められるようになり、直接的な戦争や軍隊を想起させる意匠の当時は姿を消しました。



栗東歴史民俗博物館イベントのお知らせ

旧中島家住宅（登録有形文化財）で
かまどめしを炊こう!!

7 月 27 日（土）10:00～14:00

8 月 17 日（土）10:00～14:00

*定員 20 名 要申込（TEL077-554-2733）申込多数の場合は抽選
申込締切はいずれも実施日の 10 日前まで

